

個人投資家さま向け 会社説明会資料

2026年5月25日(月)
アステナホールディングス株式会社
(東証プライム市場 8095)

Diversify for Tomorrow.



ASTENA GROUP

<アステナグループの概要>

アステナグループ概要

創業

1914年（創業112年目）

連結業績

売上高
627 億円

営業利益
30 億円（2期連続最高益）

親会社株主に帰属する
当期純利益
21 億円

ROE
8.4 %



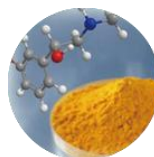
時価総額（2026年4月末日）

約 200 億円

5つの事業



ファインケミカル事業



HBC・食品事業
(Health & Beauty Care)



医薬事業



化学品事業



ソーシャル
インパクト事業



連結子会社数

27 社



従業員数

1,543 人

研究員

約 400 人

拠点



国内

約 30 拠点

海外

7 拠点
(アジア、米国)

本社（東京都中央区日本橋本町）



アステナグループの
パーパス

明日の『あたりまえ』を創り続ける

大きく変化する時代だからこそ、今日の暮らしの「あたりまえ」に心を尽くし、明日の笑顔へ寄り添い続けます。



インパクト



健康で快適な
生活への貢献



持続可能な
社会の構築



地域経済の発展

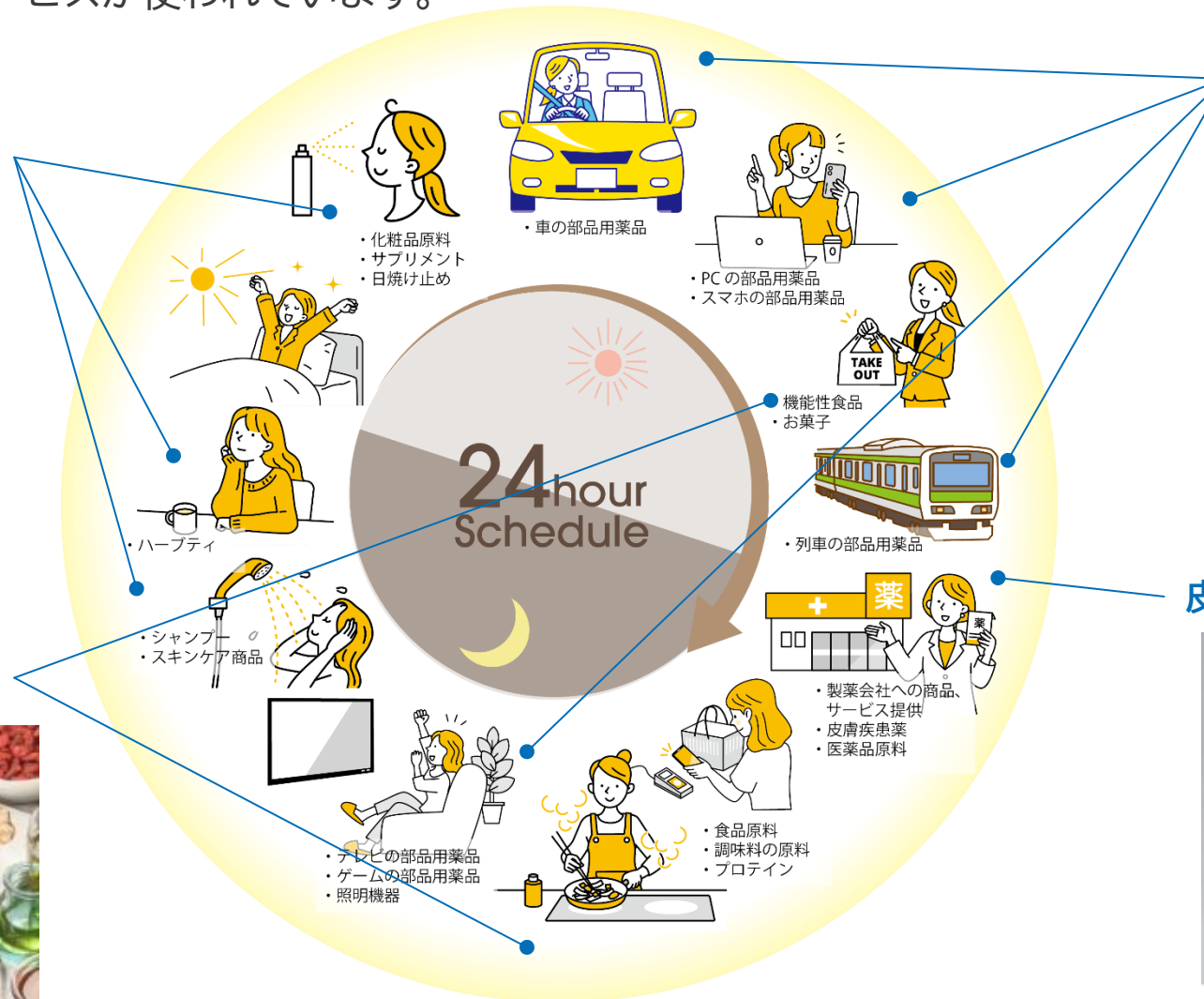
基本的理念 「誠実・信用・貢献」

皆さまの生活のあらゆるシーンで、医薬品、化粧品、機能性食品といったヘルスケア領域や電子材料向けのファインケミカルなど、アステナグループの製品、サービスが使われています。

幅広いスキンケア、サプリメント
を提供して、健康と美を応援！



高品質な原料と安定した
供給体制で、生活をサポート！



IT機器向けの製品を通して、
デジタルライフをもっと便利に！



皮膚治療薬で患者様の生活を快適に！



アステナグループの「No.1」「Only1」

アステナグループは、No.1を有する製品や、唯一のOnly1製品を多く有しています。

No.1



Torriden ダイブイン セラム

「LIPS」ベスコス2024
美容液部門 No.1



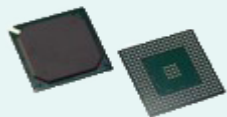
シルキーカバーオイルブロック

日本一売れている化粧下地8年
連続 No.1



後発医薬品 塗り薬

抗真菌外用剤物量
シェアNo.1



メルプレートSN

電子部品向けすずめつき薬品
世界シェア No.1

Only 1



3D ED/MicroED技術

医薬品業界で世界唯一
原子レベルで結晶構造を解析できる
受託ビジネス



フェニレフリン塩酸塩
グリセロリン酸カルシウム など

一部医薬品原料の
国内唯一の製造メーカー



輸入商品販売総代理店

韓国コスメ(Torridenなど)
タイガーバーム
ヴィックス ヴェポラップ



麻醉銃

国内唯一
麻醉銃取扱い許可企業

<注力領域>

今回の説明会では、足元において業績への寄与が高く、また今後も成長が期待できる3つの領域をピックアップしています。

① 「医薬品」の川上から川下まで

ファインケミカル事業

医薬事業

製剤化に伴う受託開発、医薬品の原料調達、製品の製造・販売まで、
医薬品に関わる一連の機能を保有し、多くの医薬品メーカーへ販売・提供しています。



② 拡大する「韓国コスメマーケット」への取り組み強化

HBC(Health & Beauty Care)・
食品事業

日本国内においても人気を博している韓国コスメの輸入、販売を行い、
国内における韓国コスメマーケットで一定のプレゼンスを有しています。



③ デジタル社会に欠かせない「半導体向け薬品」

化学品事業

スマートフォンやAIサーバー、データセンターに欠かせない各種半導体の製造工程で
必要となる各種薬品の開発・製造を行っています。
日本をはじめ韓国、台湾などグローバルにも供給を行っています。



①「医薬品」の川上から川下まで

製剤化に伴う受託開発、医薬品の原料調達、製品の製造・販売まで、「医薬品」に関わる一連の幅広いサービスを提供しています。

		(主な機能)	(主な特徴)
製剤化に伴う 受託開発		✓ 医薬品の開発に必要なCMC※機能を医薬品メーカーへ提供 ※CMC:Chemistry, Manufacturing and Control	✓ 武田薬品工業(株)から分社化 ✓ 同機能の研究受託では日本最大級の規模(研究者約150人規模)
医薬品原料	調達	✓ 医薬品原料を国内外から調達し医薬品メーカーへ供給	✓ 幅広い原料を扱っており、日本国内のほとんどの医薬品メーカーとの取引を有する
	製造	✓ 医薬品原料を製造し、医薬品メーカーへ供給	✓ 国内メーカーで唯一製造する品目を有する
医薬品	製造受託	✓ 大手医薬品メーカーなどから医薬品の製造を受託	✓ 2021年に鳥居薬品(株)から分社化 ✓ 注射剤、半固形剤(外皮用剤)、固形剤(錠剤)の製造ラインを有する
	製造・販売	✓ 医療用医薬品の外用剤を中心に製造・販売	✓ 抗真菌外用剤物量シェアNo.1 ✓ ジェネリックのみならず先発品も承継

国内の医薬品メーカーを中心とする
お客様に幅広い製品・サービスを提供



各種医薬品原料



岩城製薬佐倉工場における
半固形剤の製造ライン

皮膚にお悩みの患者様に
塗り薬をお届け



②拡大する「韓国コスメマーケット」への取り組み強化

明日の『あたりまえ』を創り続ける

ASTENAGROUP

韓国の実力派化粧品ブランドである「Torriden」シリーズの輸入・販売・広告宣伝活動を展開しています。
日本国内における韓国コスメ市場の拡大と認知向上を背景に、毎期取り扱い額が増加し、HBC・食品事業の業績を牽引しています。

化粧水・美容液・クリーム・フェイスマスクなど
スキンケア商品を中心に展開する韓国の化粧品ブランド



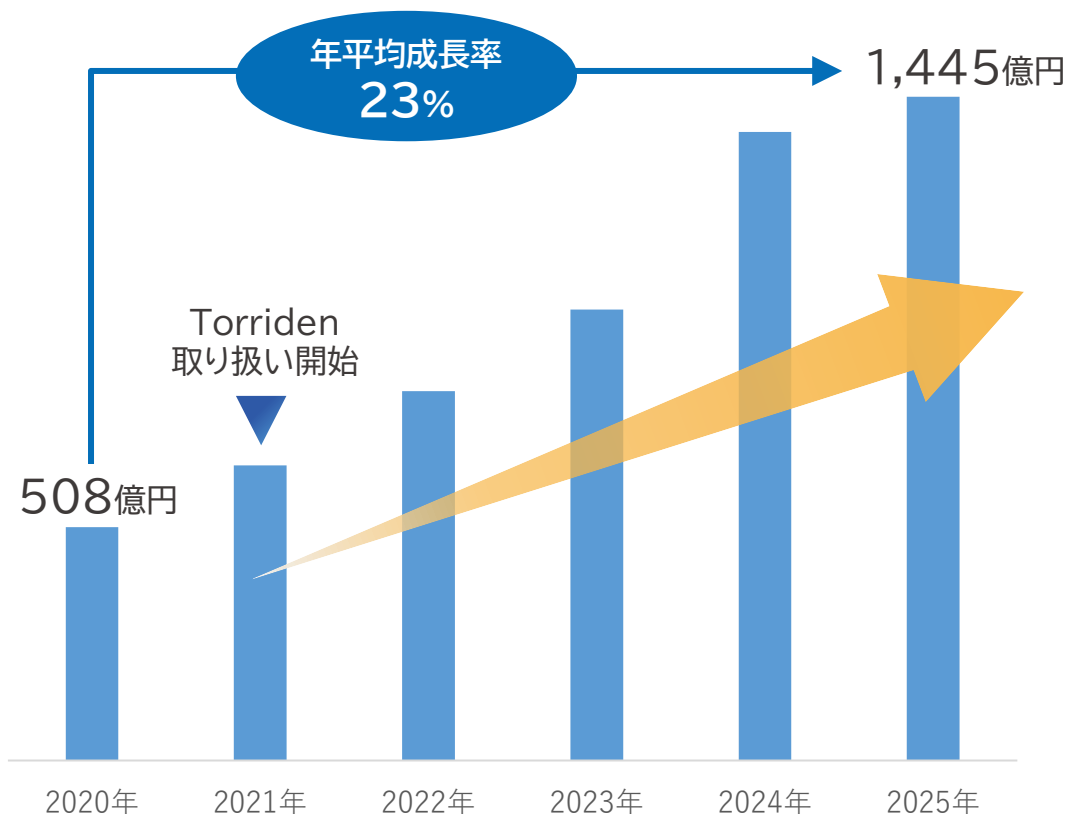
業界を牽引する複数の媒体で
数多くの賞を受賞！



②「韓国コスメマーケット」拡大への対応

日本国内における、韓国からの化粧品の輸入は毎年増加しており、今後もさらなる増加が見込まれています。
当社グループにおいても、「Torriden」に加え複数の韓国コスメの取り扱いを開始し、今後のマーケット拡大による需要を取り込みます。

日本国内における韓国からの化粧品輸入額



(出所)財務省貿易統計

取り扱い韓国コスメブランド



現在の主力ブランド
「Torriden」シリーズ

「Torriden」で培った販売実績
幅広い販路(ドラッグストア、コンビニ、バラエティショップなど)



<ISOI(アイソイ)>



<IT'S SKIN(イッツスキン)>

③デジタル社会に欠かせない「半導体向け薬品」

スマートフォンやAI、データセンターなどに欠かせない各種半導体の製造工程で必要となる各種薬品の開発・製造を行っています。最終製品である各種電子機器の需要増加により、製造に必要となる薬品の需要も増加しています。

化学品事業(メルテックス(株))



表面処理、めっき薬品の
開発・製造・販売

国内外の加工・製造メーカー

各種半導体、
電子部品(MLCC積層セラミックコンデンサ)、
プリント配線基板 など

主力の販売先



(日本)



(韓国)

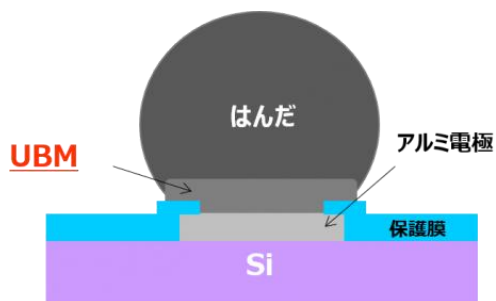


(台湾)

最終製品(各種電子機器)

スマートフォン、PC、
AIサーバー、データセンター、
電気自動車(EV) など

半導体製造におけるUBMプロセス



はんだバンプの断面模式図

UBMプロセスとは、半導体における電極と基板の接合を強化するために使われるめっき技術のこと。このプロセスに当社の薬品が使われています。

半導体向け薬品製造クリーンルーム



高い品質が求められる半導体向け薬品は
専用のクリーンルームにおいて製造、充填を実施。
(2021年に熊谷工場に専用ラインを設置)

タイにおける薬品製造拠点



日本国内(埼玉県熊谷市、三重県四日市市)に
加えタイにも製造拠点を有する。

③「半導体向け薬品」拡大へ向けた取り組み

技術革新が早い半導体マーケットにおいて、新製品開発を進めると共に、製造キャパシティの拡大も検討することで、今後の半導体マーケット拡大による需要取り込みを目指しています。

研究開発への取り組み

最新機器やクリーンルームを備えた技術研究所を有し、
毎期一定の研究開発費を投下し、日々新製品の研究開発を行っています。



技術研究所(埼玉県さいたま市)

製造キャパシティの拡大

半導体向け薬品に対応したクリーンルームのある熊谷工場の近隣に
土地を確保し、製造キャパシティの拡大を検討しています。



熊谷工場
(2021年竣工の新製造棟)

「半導体テクニカルセンター九州」の新規開設

福岡県が運営する「福岡超集積半導体ソリューションセンター(福岡県糸島市)」内に、
2025年秋に新規開設しました。
九州地区は、今後の半導体マーケットの成長を牽引する地域であり、
薬品以外の半導体製造関連企業や顧客などとの接点増加の機会として活用していきます。



半導体テクニカルセンター九州
(福岡超集積半導体ソリューションセンター内)

< 2026年11月期第1四半期業績概況 >

増収増益の主な要因

- ・ 売上高は、新規連結子会社の寄与もあり増収
- ・ 営業利益は、化学品事業、HBC・食品事業の寄与により増益
- ・ 通期業績予想に対して、売上高、各段階利益ともに概ね順調に推移

(単位:百万円)

	FY2025 1Q 実績	FY2026 1Q 実績	前年同期比	増減率	FY2026 業績予想	進捗率
売上高	14,334	16,557	2,223	15.5%	68,000	24%
営業利益	1,032	1,152	120	11.7%	3,400	34%
経常利益	1,042	1,079	37	3.6%	3,300	33%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	505	586	80	16.0%	2,350	25%
EBITDA	1,608	1,804	195	12.2%		

(注) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

2026年11月期第1四半期 セグメント別業績

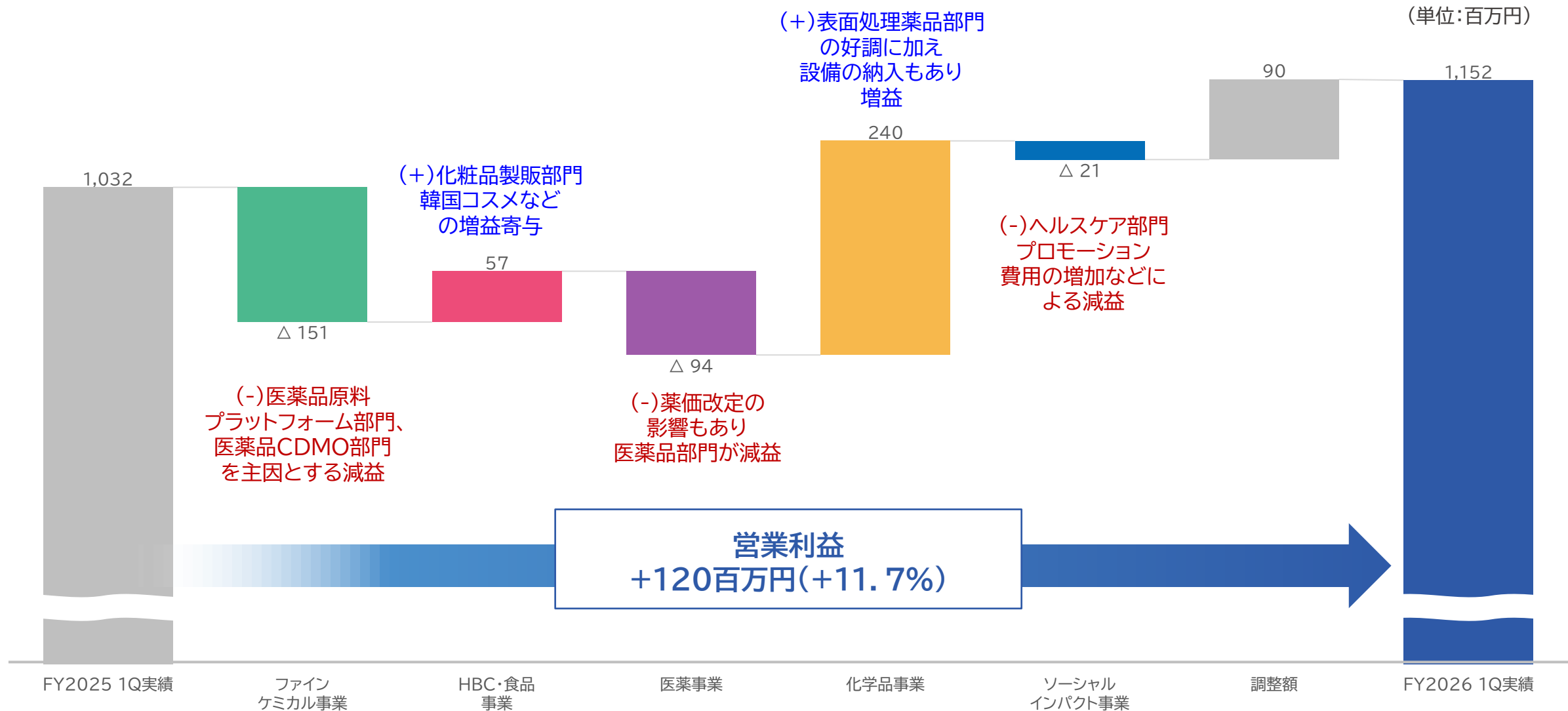
売上高は、HBC・食品事業池田物産グループの前第4四半期からの連結子会社化を主因に前年同期比2,223百万円の増収。
営業利益は、化学品事業、HBC・食品事業の増益により、前年同期比120百万円の増益を達成。

(単位:百万円)

	売上高			営業利益			営業利益率	
	FY2025 1Q	FY2026 1Q	前年同期比	FY2025 1Q	FY2026 1Q	前年同期比	FY2026 1Q	前年同期比
ファインケミカル事業	5,614	5,125	△ 489	365	214	△ 151	4.2%	△2.3pt
HBC・食品事業	3,674	5,504	1,829	208	265	57	4.8%	△0.8pt
医薬事業	2,827	2,971	143	355	260	△ 94	8.8%	△3.8pt
化学品事業	2,209	2,928	719	135	376	240	12.9%	6.7pt
ソーシャルインパクト事業	8	28	19	△ 57	△ 79	△ 21	△281.2%	411.4pt
調整額	-	-	-	24	114	90	-	-
連結	14,334	16,557	2,223	1,032	1,152	120	7.0%	△0.2pt

営業利益前年同期比増減

化学品事業、HBC・食品事業の増益が牽引し、他事業の減益を吸収し、前年同期比で増益を達成。



2026年11月期通期業績予想

売上高は、HBC・食品事業を中心に増収を見込む。すべての段階利益において過去最高益を目指す。
営業利益は、ファインケミカル事業を中心とする増益のほか、前期計上のHDなどにおける一過性費用の剥落もあり12.7%の増益を予想。

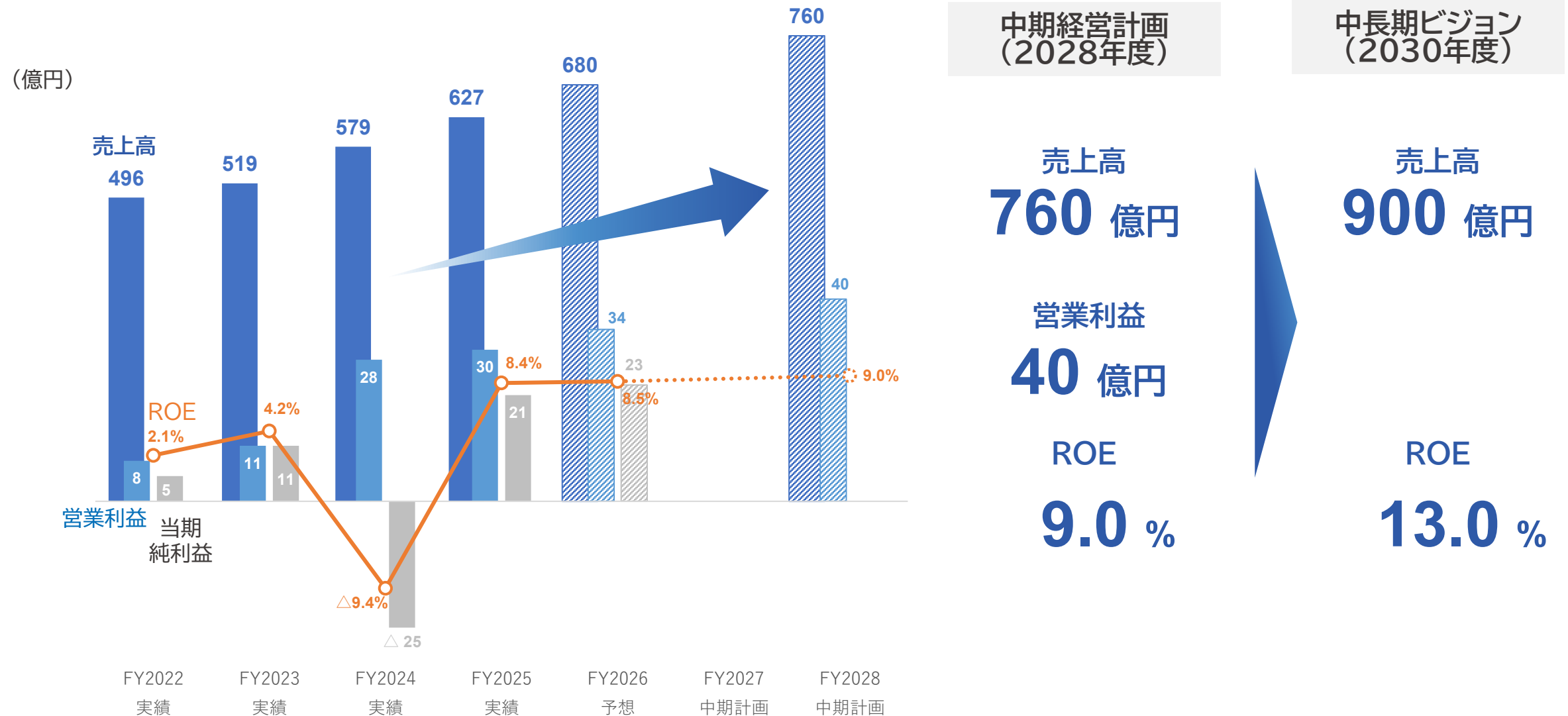
(単位:百万円)

	FY2025 実績	FY2026 業績予想	前期比	増減率
売上高	62,744	68,000	5,255	8.4%
営業利益	3,017	3,400	382	12.7%
経常利益	2,910	3,300	389	13.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,187	2,350	162	7.5%
ROE	8.4%	8.5%	0.1pt	

< 中長期ビジョン、ESGへの取り組み >

中長期ビジョン、中期経営計画

2030年度の中長期ビジョン達成を目指し、3カ年の中期経営計画(2026-2028)をローリングしています。



Environmental

環境情報イニシアティブであるCDPが実施する調査により「気候変動」分野で「B-」に選定(2024年度より改善)



Social

当社グループ従業員持株会を通じた「特別奨励金スキーム」の導入

従業員の経営参画意識の醸成、グループ一体感の強化及び企業価値向上への意欲喚起を目的として、アステナグループ従業員持株会を通じ、持株会会員に対し、特別奨励金として当社株式を付与
持株会会員 814名を対象に約90百万円相当の株式を付与(2025年度)
持株会への加入率が約30pt向上

経済産業省と日本健康会議が実施する健康経営優良法人認定制度において「健康経営優良法人2026(大規模法人部門)」に5年連続で認定



Governance

行動指針の策定

パーパスの策定に加え、アステナグループの行動指針を新たに策定
当社HPへの掲載に加え、社内の周知を図るため各拠点ごとの説明会などを実施予定

IR活動、情報開示の強化

IR組織の設置に加え、決算説明資料を従来の中間、期末に加え1Qと3Qにおいても開示を開始、スプレッドシートベースのDATABOOKの開示を開始

統合報告書
2025



<株主還元・株主優待>

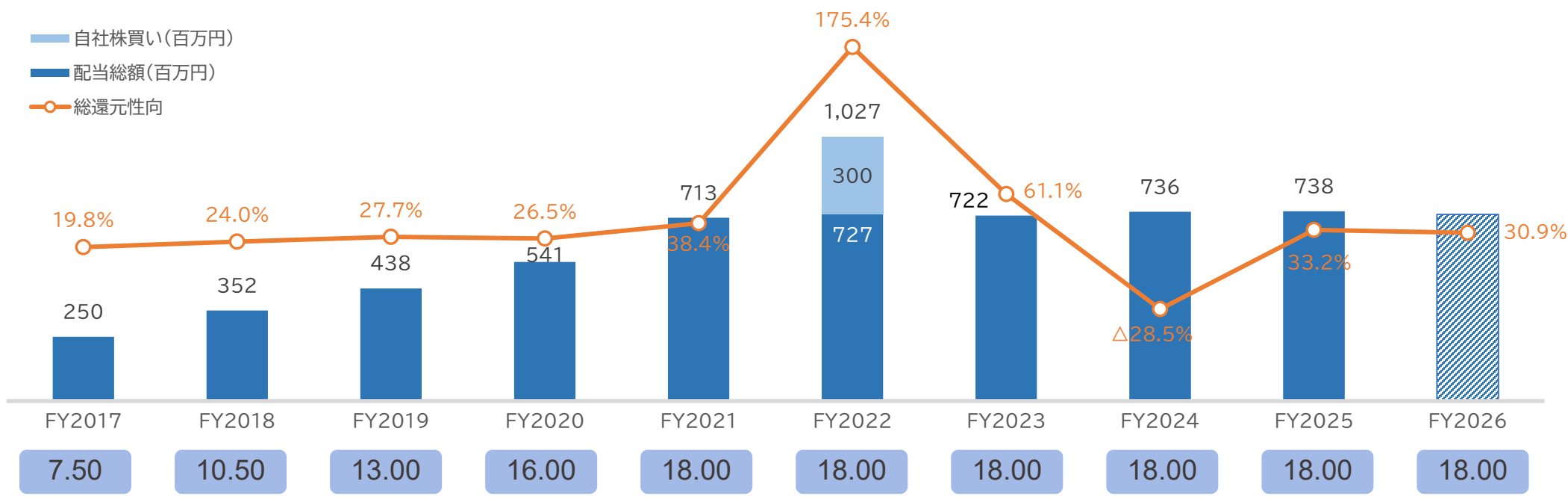
当社は事業の成長と企業価値の向上に努めていくと共に、株主価値を考慮した資本政策等を勘案し、株主の皆様への利益還元の充実を図るため、安定的でありかつ業績連動性を持たせた「純資産配当率(DOE)1.5%を下限とし、配当性向30%を目標」とする配当方針を基本方針としています。

配当方針

純資産配当率
(DOE) **1.5%** 以上

連結配当性向 **30%** 目標

2026年度
中間配当予想 期末配当予想
9円 **9円**
合計 **18円**



1株当たり
配当金(円)

株主優待制度

一定の保有株式数と保有年数に応じて、当社グループの自社商品等を贈呈しています。
毎年11月末日を基準として、「より多く」、「より長く」保有していただくことで、優待内容がアップグレードします。

保有株式数		500株未満	500～ 1,000株未満	1,000～ 3,000株未満	3,000株以上
保有期間	1年未満	対象外			
	1年以上 3年未満	対象外	自社商品3,000円相当 (または1,000円相当の商品・寄付)	自社商品5,000円相当 (または2,000円相当の商品・寄付)	自社商品10,000円相当 (または3,000円相当の商品・寄付)
	3年以上		自社商品5,000円相当 (または2,000円相当の商品・寄付)	自社商品10,000円相当 (または3,000円相当の商品・寄付)	自社商品15,000円相当 (または5,000円相当の商品・寄付)

自社商品例(当社グループで取り扱う化粧品、健康食品などをラインナップ)



マルマンH&B「Poreal」

マルマンH&B「リラックスパイポ」

アプロス「Silky Cover」

NAIA ヘルスケア商品

※対象となる商品は毎年変更となります。具体的な商品は2月末に送付する株主優待に関するご案内をご覧ください。

<ご参考>

(2025年11月末日現在)

会 社 名	アステナホールディングス株式会社 (Astena Holdings Co., Ltd.) (2021年6月にイワキ株式会社から商号変更)
本 社	本社／東京都中央区日本橋本町四丁目8番2号 珠洲本社／石川県珠洲市上戸町北方四字177番3
創 業	1914年(大正3年)7月10日
設 立	1941年(昭和16年)9月20日
代 表 者	代表取締役社長 瀬戸口 智
決 算 期	毎年11月末
資 本 金	46億29百万円
従 業 員 数	個別 96名 連結1,543名
事 業 内 容	ファインケミカル事業、HBC・食品事業、医薬事業、化学品事業、ソーシャルインパクト事業
グ ル ー プ 会 社	スペラファーマ(株)、イワキ(株)、岩城製薬(株)、メルテックス(株)、アステナミネルヴァ(株)など 子会社27社、関連会社1社

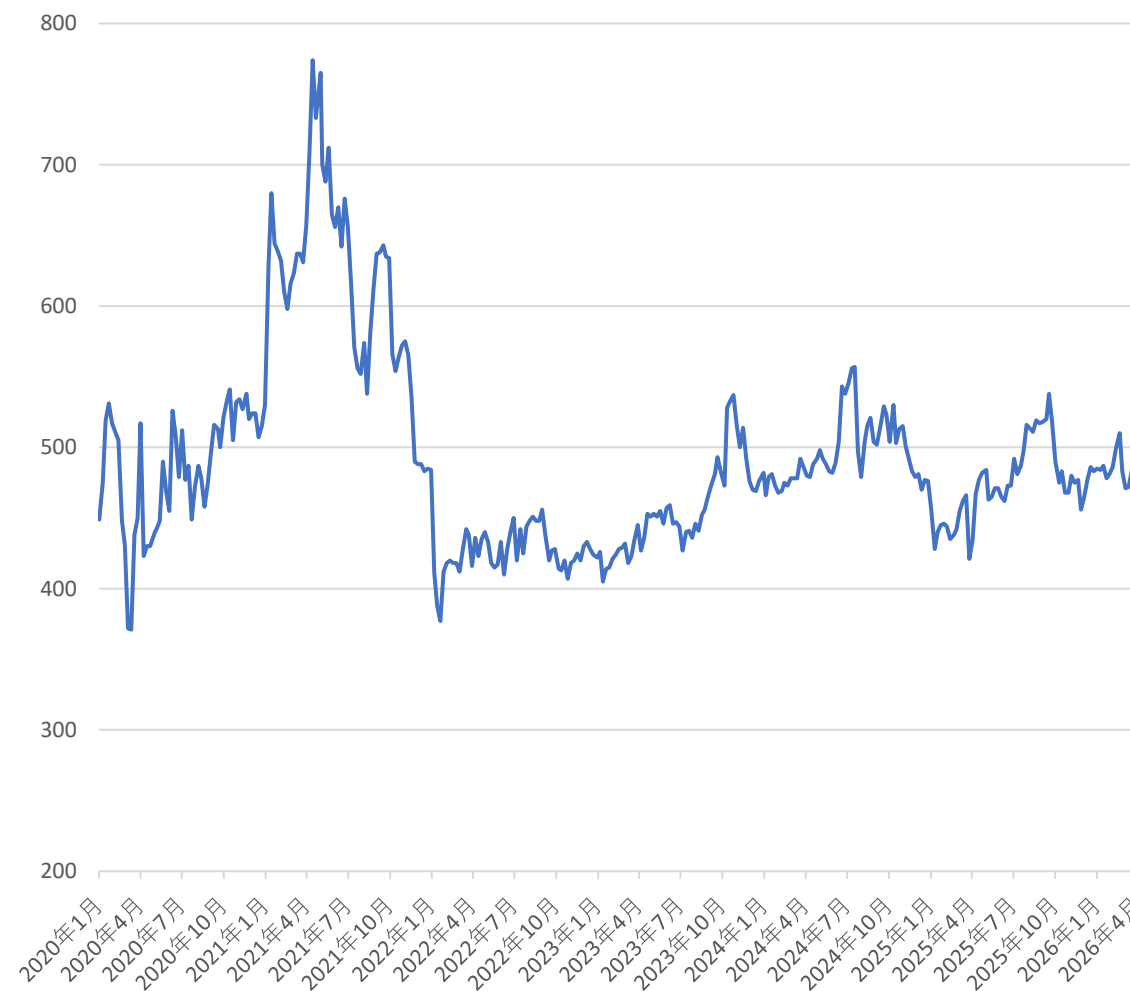
株式情報(2025年11月末日現在)

上 場 市 場 東証プライム市場
証 券 コ ー ド 8095
発行可能株式総数 136,000,000株
発行済み株式総数 41,097,566株
株 主 数 52,810人

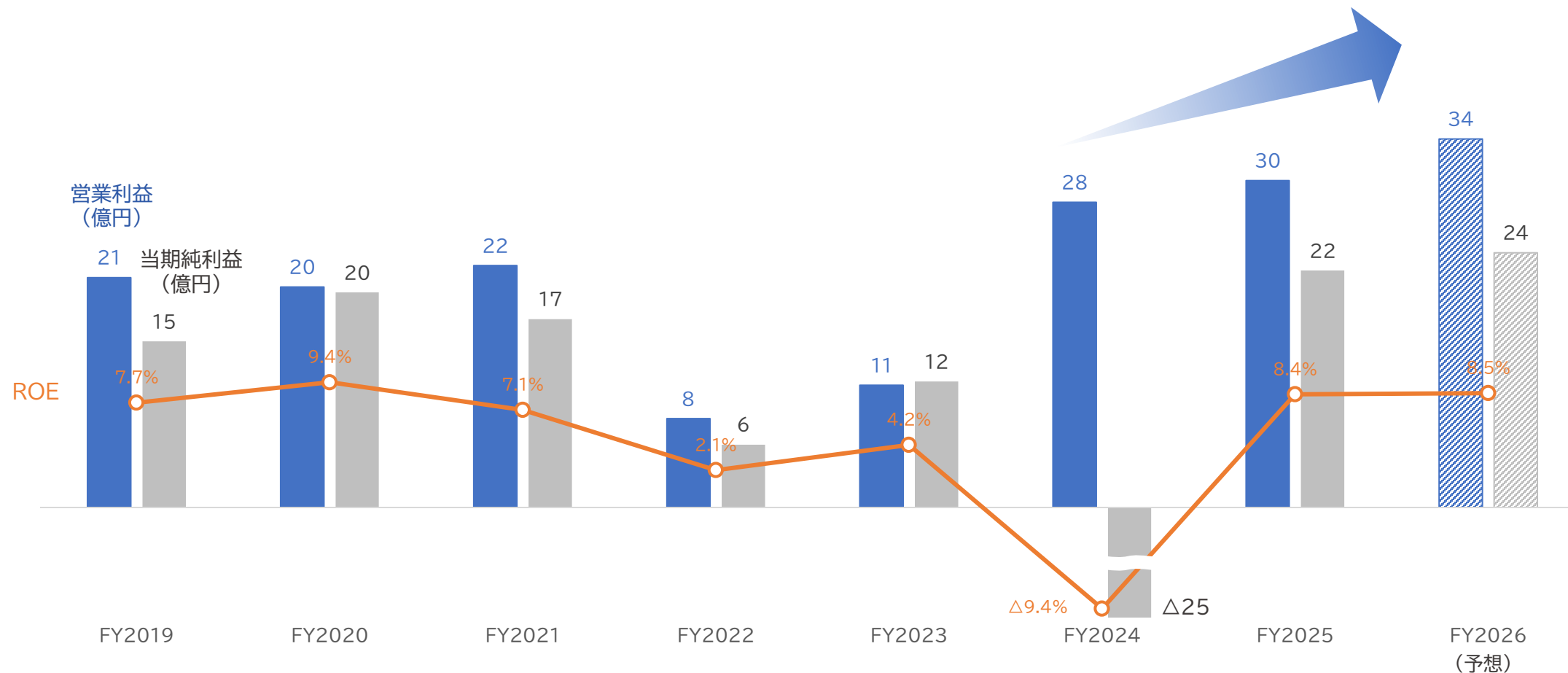
株価指標(2026年4月末日現在)

時 価 総 額 約200億円
P B R 0.72倍
P E R 8.4倍(予想EPSベース)

株価推移(2020年1月～)



2024年度には減損損失計上により当期純損失を計上も、2025年度に黒字転換し前々期と比較しても増益を達成しました。2026年度も増益予想であり、営業利益、当期純利益ともに過去最高益を予想しています。



5つの事業で合計13部門で日々の暮らしに密接に関わる多様な製品・サービスを提供しています。

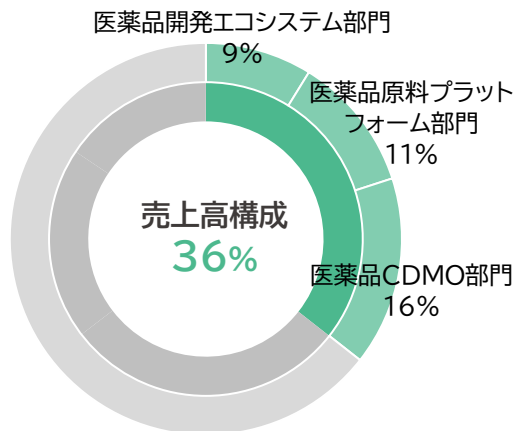
戦略	事業	部門	事業概要	主要事業会社
プラットフォーム戦略	ファインケミカル事業	医薬品開発エコシステム部門	医薬品のCMC研究開発および製造受託	スペラファーマ JITSUBO
		医薬品原料プラットフォーム部門	医薬品原料の販売	スペラネクサス(商社機能)
		医薬品CDMO*部門 *Contract Development and Manufacturing Organization	医薬品、医薬品原料の製造・販売	スペラネクサス(製造機能) 岩城製薬佐倉工場
	HBC・食品事業	食品原料部門	食品原料、機能性食品原料の販売、受託加工	イワキ
		化粧品原料部門	化粧品原料の販売	イワキ、池田物産 IKEDA Corporation of America
		ライフサイエンス部門	創薬支援・体外診断用医薬品、医療機器、薬事サポート事業	イワキ
		化粧品製販部門	化粧品、健康食品等の卸売り、通信販売 化粧品の輸入代行など	マルマンH&B、アプロス アインズラボ
ニッチトップ戦略	医薬事業	医薬品部門	後発医薬品を主とした医薬品の製造・販売	岩城製薬
		美容医療部門	医療機関向け化粧品の販売	岩城製薬
	化学品事業	表面処理薬品部門	表面処理薬品の製造・販売	メルテックス 海外子会社
		表面処理設備部門	プリント配線板等の製造プラントの製造・販売	東京化工機など
ソーシャルインパクト戦略	ソーシャルインパクト事業	ヘルスケア部門	ヘルスケアブランド「NAIA」の企画・販売など	NAIA
		地方創生部門	ふるさと納税プラットフォームの構築	アステナミネルヴァなど

事業概要(ファインケミカル事業)

医薬品開発エコシステム部門、医薬品原料プラットフォーム部門、医薬品CDMO部門の3部門を柱とし、原材料調達からCMC研究開発、商用原薬生産から商用製剤製造まで、医薬品開発・製造の幅広いバリューチェーンでサービスを提供しています。

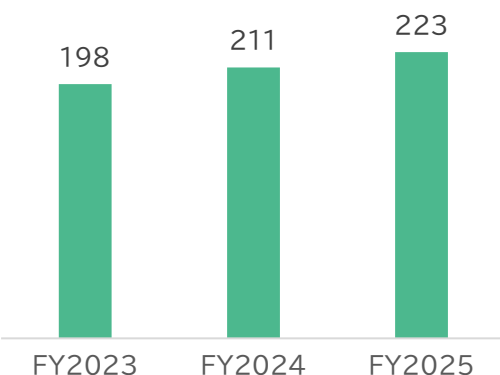
※CDMO:Contract Development & Manufacturing Organization ※CMC:Chemistry, Manufacturing and Control

売上高構成(2025年度)

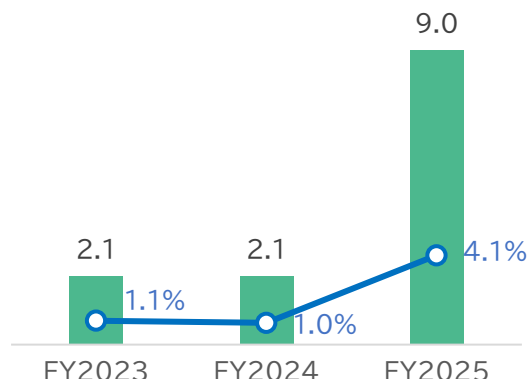


業績推移

売上高(億円)



営業利益/率(億円/%)



医薬品開発エコシステム部門

スペラ
ファーマ

- ・日本トップクラスの医薬品CMC研究開発を展開

JITSUBO

- ・ペプチド医薬品を支える特許技術であるMolecular Hiving™法の開発

医薬品原料プラットフォーム部門

スペラ
ネクサス
(商社機能)

- ・医薬品原料、原薬の国内外における仕入れ・販売
- ・国内大半の医薬品製造販売業とのビジネスコンタクトを有する

医薬品CDMO部門

スペラ
ネクサス
(製造機能)

- ・多彩かつ高度な大量製造技術を保有し、後発医薬品の商用原薬の製造、新薬の中間体及び原薬の受託製造

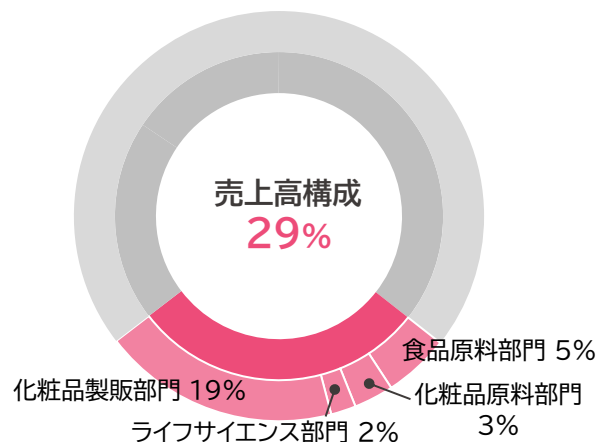
岩城製薬
佐倉工場

- ・新薬製造にも耐えうる注射剤、半固形剤、固形剤の製造受託が可能

事業概要(HBC・食品事業)

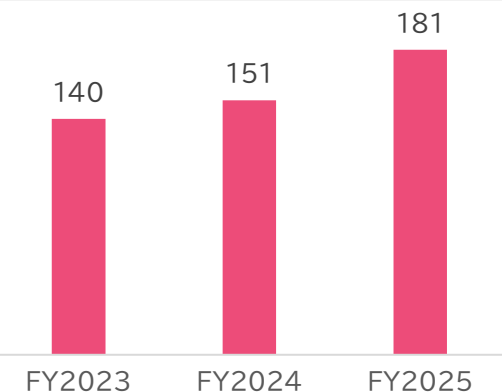
HBCとは、「Health & Beauty Care」の略称です。化粧品原料・食品原料の販売、化粧品・健康食品の販売と導入支援、研究用試薬・体外診断用医薬品・医療機器の販売と導入支援を中心に4つの部門で展開しています。

売上高構成(2025年度)

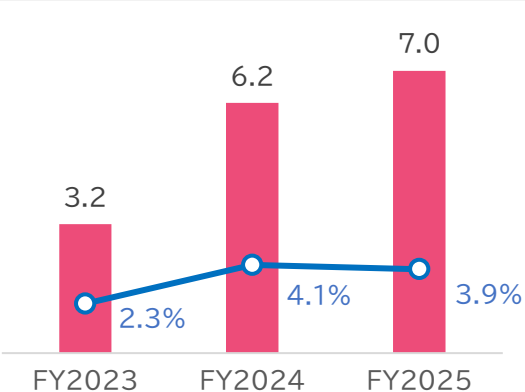


業績推移

売上高(億円)



営業利益/率(億円/%)



食品原料部門

イワキ

- ・食品原料、機能性食品原料の仕入れ・販売

化粧品原料部門

イワキ
池田物産
IKEDA
Corporation
of America

- ・化粧品原料の仕入れ・販売
- ・国内外の原料素材メーカーのあらゆる商品を選別し化粧品メーカーに供給

ライフサイエンス部門

イワキ

- ・創薬支援製品／受託サービス・研究用試薬・臨床検査薬、国内外の医療機器、人工呼吸器などの提供・販売
- ・医療機器の薬事申請と製造販売業受託を主とする薬事支援業務

化粧品製販部門

アプロス

- ・自社ブランド化粧品の通信販売

マルマン
H&B

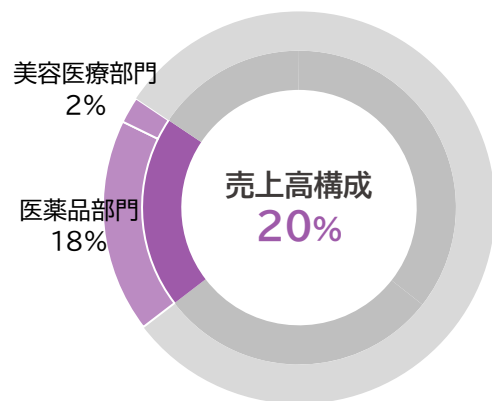
- ・韓国などからのコスメの輸入・販売
- ・健康食品、自社化粧品ブランドなどの開発・販売

アインズラボ

- ・海外化粧品の輸入代行、化粧品分析・広告表現適法チェックなど

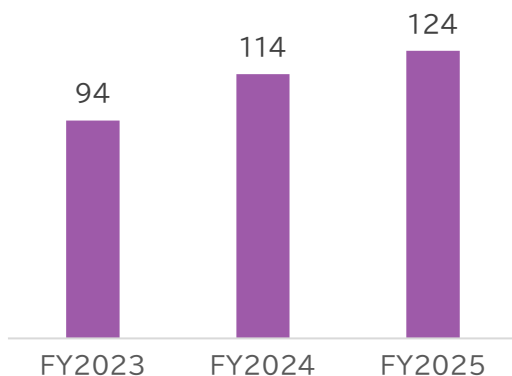
医薬品や医療機関専売化粧品の開発・製造・販売を行っております。医薬品部門は、軟膏やクリーム・ローションなどの半固形剤を主とする開発・製造・販売を行っております。美容医療部門では、美容施術の前後にも使用していただける医療機関専売化粧品を展開しています。

売上高構成(2025年度)

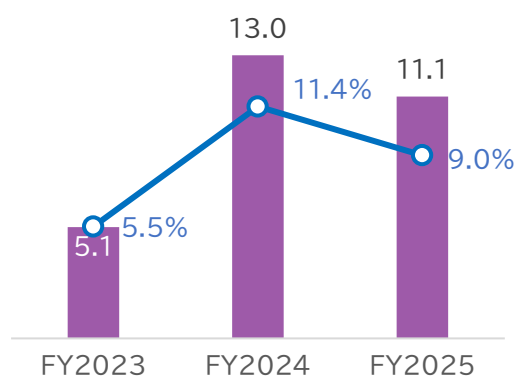


業績推移

売上高(億円)



営業利益/率(億円/%)



医薬品部門

岩城製薬

- 皮膚科領域の半固形剤に特化したニッチトップメーカー
- 高い皮膚科カバレッジを有する
- 稀少な半固形剤の製剤開発技術を有する

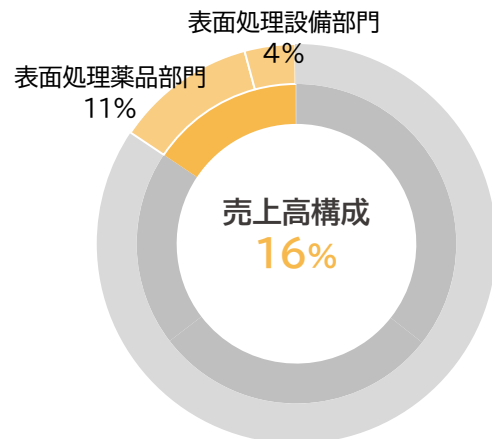
美容医療部門

岩城製薬

- 医療機関専売化粧品である「NAVISION DR (ナビジョンDR)」および「illsera(イルセラ)」ブランドを展開

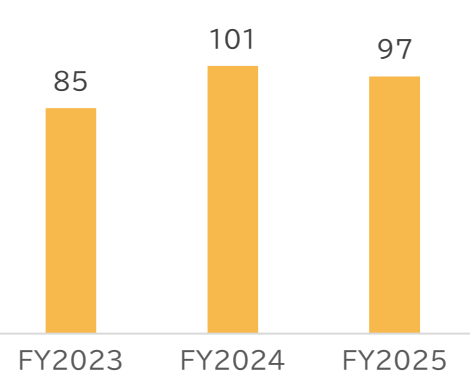
表面処理薬品の先端を目指して、プリント基板・電子部品・半導体・自動車の4セグメントを中心に研究開発や新しい製造方法の開発に注力しています。また、プリント基板製造に欠かせない装置を製造販売し、薬品と装置の総合的なソリューションを提供しています。

売上高構成(2025年度)

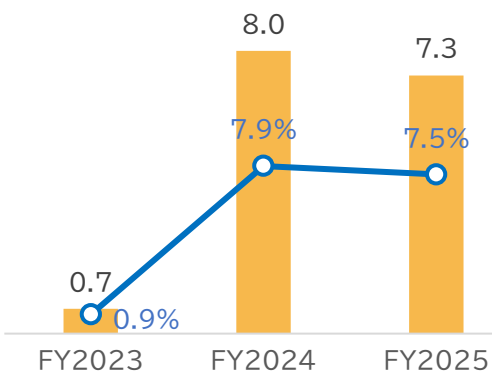


業績推移

売上高(億円)



営業利益/率(億円/%)



表面処理薬品部門

メルテックス
海外子会社

- ・エレクトロニクス業界におけるハイエンド表面処理薬品に特化したニッチトップメーカー
- ・主としてアジア諸国に広いカバレッジを有し、半導体・電子部品領域で高い市場シェアを確保

表面処理設備部門

東京化工機
海外子会社

- ・プリント基板製造用の高品質、高精細なエッチングマシンメーカーの製造販売

アステナホールディングス株式会社(8095) 個人投資家さま向け 会社説明会

本日はご参加いただき、ありがとうございました。

- 本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報及び一般的に認識されている経済・社会等の情勢に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の経営環境の変化等様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれています。

アステナグループの最新情報はこちら

アステナ公式X
(旧Twitter)



お問い合わせ窓口

アステナホールディングス株式会社
経営企画部 広報・IRグループ
Tel:03-3279-0564